

釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

おん ね ない

月刊 温根内 通信

2025年1月号 No.340

1月15日(水)発行

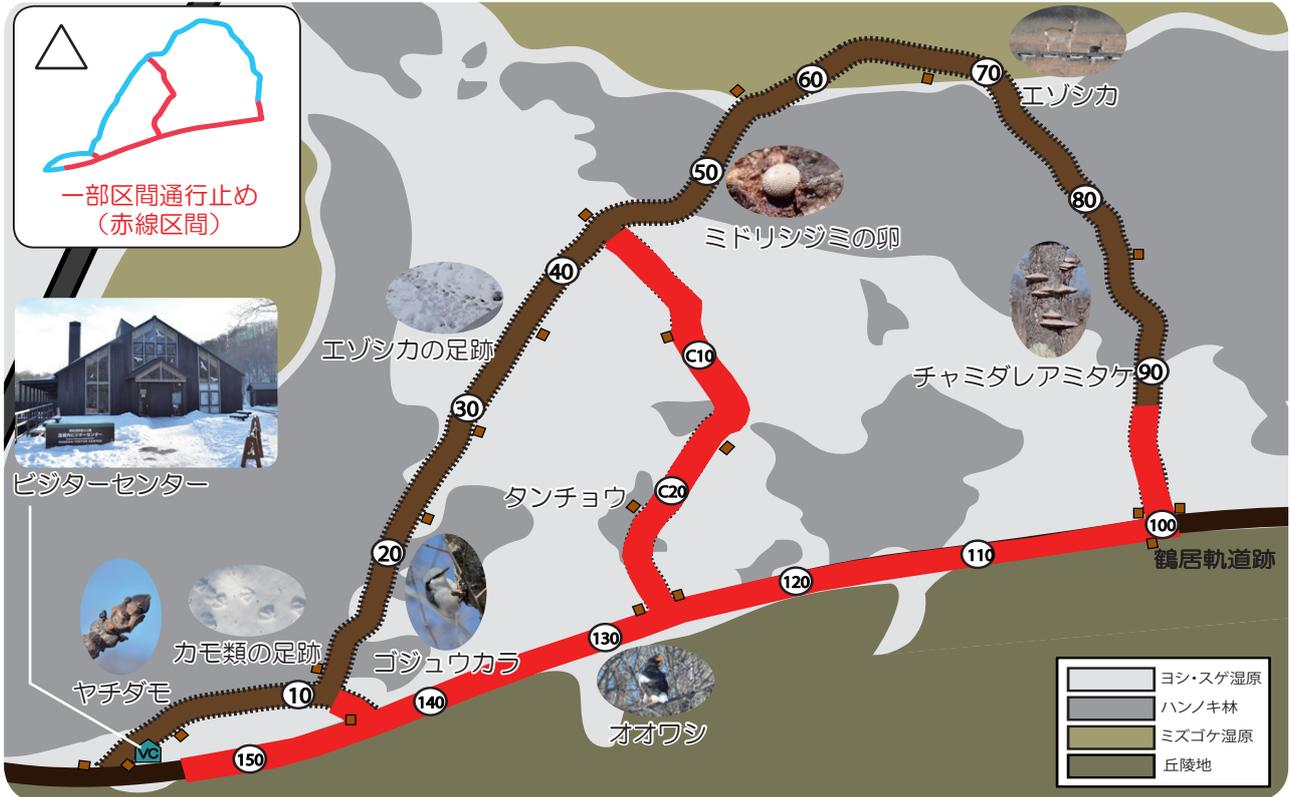


木道の上でごゆるりと

あけましておめでとうございます。今年も温根内ビジターセンターをよろしくお願ひいたします。

木道を巡視していると出会わない日はないエゾシカ。ミズゴケ湿原では雪の上から顔を出す植物を好んで食べているようです。この日は木道の上にも上がって移動して、こちらが困ってしまいました。ゆっくり近づくと、面倒くさそうにしながらようやく道を譲ってくれました…

☆☆☆ 温根内木道周辺で見られた自然（12/15～1/14）☆☆☆



【ヤチダモの冬芽】

モクセイ科 谷地榊
葉の落ちた樹木には種によって独特の冬芽が見られます。中でも本種の冬芽は複雑な造形を有しています。



【ミドリシジミの卵】

シジミチョウ科
ハンノキの葉を食草とするチョウの卵で直径は1mmほど。ハンノキの枝をよく探してみてください。



【カモ類の足跡】

湿原の水面周辺にたくさんついていました。「ペタペタ」という音が聞こえてくるような、かわいらしい足跡でした。



【オオワシ】 冬鳥

タカ科 大鷲
丘陵地の樹上で羽を休めていました。温根内では時折見ることのできる冬鳥の代表格。



【タンチョウ】 留鳥

ツル科 丹頂
低空で木道を横切っていきました。新年最初の巡視で見ることができ、縁起のよいスタートとなりました。



【ゴジュウカラ】 留鳥

ゴジュウカラ科 五十雀
晴れた日には囀りも聞こえるようになりました。ぽっちゃり体形をしており、白いお腹もキュートです。

○表紙の写真 上：木道上からこちらを見つめるエゾシカ 下：エゾシカの通りの跡

○温根内木道周辺で観察された鳥（12/15～1/14）

今年の冬は昨年と比べて雪が少なく推移しています。温根内では、カラ類などの混群が林やビジターセンター周辺で見られるほか、ハンノキの実をついばむマヒワの群れも毎日のように見られています。また上空には時折、オジロワシやオオワシが飛んでいます。ビジターセンターでは双眼鏡を無料で貸し出ししております。お気軽にお声がけください。

鳥（和名は日本鳥類目録第8版の順）	7	オジロワシ	14	ハシブトガラ	21	ツグミ	
1	コガモ	8	ノスリ	15	シジュウカラ	22	セグロセキレイ
2	タンチョウ	9	コゲラ	16	ヒヨドリ	23	イカル
3	アオサギ	10	アカゲラ	17	エナガ	24	カワラヒワ
4	ハイタカ	11	モズ	18	ミソサザイ	25	マヒワ
5	トビ	12	ハシボソガラス	19	ゴジュウカラ		
6	オオワシ	13	ハシブトガラス	20	キバシリ		

☆☆☆☆ 冬の野鳥観察「混群」を探そう！ ☆☆☆☆

冬シーズンの道東の野鳥と言えば、オオワシやオジロワシといった大型のワシ類やタンチョウなどを思い描く方が多いかもしれませんが、でも、冬のバードウォッチングの楽しみはもちろん、それだけではありません！

～「混群」とは？～

冬は、野鳥たちにとって餌を得る機会が乏しく、厳しい季節です。また、木の葉が枯れ落ちてしまうので、外敵からも狙われやすくなると考えられます。そこで、野鳥たちは異なる種どうして群れを形成し、冬を乗り切ろうとします。これを「混群」と呼んでいます。バードウォッチングをすでに楽しんでいる方はもうご経験があるかもしれませんが、秋から冬にかけて野鳥を探していると、1種の野鳥が見つかると同時に、他の種が次々に見つかる時があります。（こういう時は嬉しいですね！）まさにこれが混群です。

～どんな野鳥が混群を作っている？～

混群を形成している野鳥としては、スズメサイズかそれよりも小さい種がメインです。ハシブトガラ、シジュウカラといった、いわゆる「カラ類」がまずよく目につきます。そして、ゴジュウカラ、キバシリのほか、コゲラ、アカゲラといったキツツキの仲間が見ら



ハシブトガラ

チ・チ・ジェー・ジェー

れる場合もあります。そして、今や全国から注目の的となっている人気種、エナガ（亜種シマエナガ）も混群に加わっているケースがあります。



エナガ

ジュリ・ジュリリ...

～混群を作る理由は？～

野鳥たちが混群を形成する理由は様々な説があります。まず、群れを形成することで監視する目が増え、外敵（捕食者）をいち早く発見し、捕食から逃れることができると考えられます。また、他の鳥が警戒してくれる分、餌探しに集中できる個体が増えて採餌の効率が上がったり、他の種の採餌を真似ることで、効率よく採餌できるようになる、などといったメリットがあるそうです。面白いですね！



キバシリ

シリリリリ...

～混群に出会うには～

混群探しに限らず、野鳥に出会うための第一歩はやはり、「耳で聴くこと」です。よ～く耳を澄ませて、鳴き声が聞こえたらそちらの方へ静かに近づいて行ってみましょう。混群に運よく出会えれば、複数種を次々見つけることができるので、とにかく何かの鳴き声が聞こえたらそれを頼りにしてみてください。そしてもちろん、双眼鏡は必須です！



アカゲラ

キョッ！キョッ！

～混群を見つけたら～

混群を見つけたら、野鳥たちをよく観察してみましょう！形成している種数は？何を食べている？鳴き声は？どの種が混群を先導している（ように見える）か？などなど、野鳥たちの面白い行動が見られるかもしれません。

※参考文献：「鳥類学辞典」昭和堂、950p.

☆☆☆☆ 番外トピック 鶴居村にあのツルが今年も…? ☆☆☆☆

温根内通信を定期的にお読みいただいている方は覚えておられると思いますが、ちょうど1年前の本誌に番外トピックとして、「マナヅル」と「カナダヅル」という珍しいツルが鶴居村内のタンチョウ給餌場に迷い込んできたというお知らせしていました。（一部報道で「鶴居村の『マナカナ』」と称されて話題になっていました。）この2羽のツルは、タンチョウの給餌が終わると村内から見られなくなっていました。



昨年見られていたカナダヅルとマナヅル

さて、再び給餌が始まった今年はどうでしょう？昨年カナダヅルを見つけた鶴見台



鶴見台で見られているマナヅル

にまず行ってみると・・・さっそくタンチョウとは違

う何かがありました！しかし、そこにいたのはマナヅルの方でした！厳密に個体識別をしていないので、昨年と同一かどうかは不明ですが、とにかく今年もマナヅルが鶴居村に迷い込んできていました。では、カナダヅルの方はどうでしょう？鶴見台と鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリ、両方をくまなく探しましたが、残念ながら今年は見られていないようです。どこかで冬を越しているのか…また出会えると嬉しいですね！

☆☆☆☆ 無料レンタル 今しばらくお待ちください ☆☆☆☆

多くのお問い合わせをいただいている、歩くスキー・スノーシューの無料レンタルですが、1月15日現在でまだ開始しておりません。今シーズンは積雪が十分でないため、もうしばらくお待ちください。レンタルを開始する際には、ビジターセンターのFacebookにて速報をお出ししますのでチェックしてみてください。また、直接お電話でお問い合わせいただいても構いません。ご理解のほど、お願いいたします。

☆☆☆☆ イベントのご案内（2月）事前の申し込みが必要です ☆☆☆☆
申し込みは開催日の1か月前から受け付けています

○ 自然ふれあい行事 ⇒お申し込み☎0154-65-2323

♪ 湿原の裏山でスノーシューハイク

〔日時〕2月16日（日）10:00～12:00 〔定員〕10名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕無料

〔場所〕温根内ビジターセンター

残雪の裏山をスノーシューで歩き、雪解けを待つ植物などを観察します。スノーシュー初心者の方にも丁寧に教えます。



○ 塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）⇒お申し込み☎015-487-3003

♪ シラルトロ湖・蝶の森 スノーシューハイク

〔日時〕2月1日（土）10:00～12:00 〔定員〕10名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕無料

〔集合場所〕シラルトロ自然情報館駐車場

♪ サルボ～シラルトロ湖 スノーシューハイク

〔日時〕2月15日（土）10:00～13:00 〔定員〕10名（小学生は保護者同伴）

〔参加費〕無料

〔集合場所〕サルボ展望台駐車場

～体調管理にお気をつけを～

インフルエンザが過去最悪と言われるくらいに蔓延しているそうです。（かく言う私も年末から体調を崩し、お正月はほとんど何も活動ができませんでした…）皆様もどうか体調管理にはお気をつけの上、冬の季節をお楽しみください。

月刊 温根内通信 No. 340

発行：釧路湿原国立公園 温根内ビジターセンター

〒085-1145 北海道阿寒郡鶴居村字温根内

Tel: 0154-65-2323 Fax: 0154-65-2185

E-mail: ovc@kushiro-shitsugen-np.jp

ホームページ: <http://www.kushiro-shitsugen-np.jp/>

Facebook: [温根内ビジターセンター フェイスブック](#)

開館時間: 9:00～16:00（4月～10月は17:00まで）

休館日: 毎週火曜日（12/29～1/3は休館）入館無料